

12月 ほけんだより

R7.12.8
渡名喜幼小中学校

今月の保健目標：性について考えよう

今年も残りあと1ヶ月となりました。みなさんは、今年やり残したことはありませんか？今年1年を振り返り、「できたこと・できなかったこと」について自分の中で振り返ってみましょう！もし、「できなかったことがある」という人は3月までに達成できるように取り組んでみましょう。今年は暖かい日が続く、一気に寒さが来ているので身体がついていけないという人も多いと思います。体調管理が難しい時期ではありますが、体調を崩さないように気をつけて過ごしましょう。残りの2025年も精一杯走り抜けましょう★

性のあり方を示す4つの要素

性別と聞くと、「男」と「女」の2通りだけと答える人が多いかもしれませんが、でも「性」は人の数だけあります。性のあり方は、「心の性」「身体の性」「好きになる性」「表現する性」の4つの軸で考えることができます。正しく知るために、それぞれの名前と意味を知りましょう。

心の性

自分がどの性別と
感じているか。



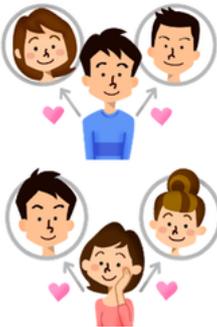
身体の性

生まれたときの身体の特徴
によって決められる性。



好きになる性

恋愛対象となる性。
異性を好きになる人だけ
ではなく、同性を好きに
なる人や両方好きになる
人などさまざま。



表現する性

服装や髪型、言葉づ
かい、持ち物などで
表現される性。



何気ない一言で傷つけていませんか？

「男（女）のくせに〇〇だよねえ」

「オトコオンナ」

ダメ！

「オカマ」

「オネエ」

「〇〇って女（男）みたい」

もし、これらの言葉を使っている人がいたら、「それ、差別だよ」と教えてあげましょう。1人1人、性格、好み、考え方が違い、全く同じ人はいません。

「自分らしさ」「その人らしさ」を大切にしましょう。

みんな違ってみんないい！



お知らせ



●SCのオンライン面談があります。

12月18日（木）

今年度の面談も残り3回となっています。悩みごとや相談したいことはありませんか？少しのおしゃべりでも大丈夫です！

お気軽にご相談ください。

ご予約は保健室（上原）までご連絡をおねがいします。

AIDS & HIV

エイズ エイチエイブイ
 知ることが差別ゼロへの第一歩

AIDS・HIVってなに？

AIDS (エイズ) は、HIV (ヒト免疫不全ウイルス) に感染して免疫力が低下し、健康なときにはかからない様々な疾患を発症した状態を言います。HIVの感染経路は、血液感染・母子感染・性的接触の3つに限られています。



AIDS・HIV について、どれだけ知っていますか？

次の問題に か で答えてみましょう

- Q1 HIVは感染力が強く、日常生活ですぐ感染する？
- Q2 HIVに感染すると必ず死に至る？
- Q3 HIV感染は予防できない？
- Q4 HIV感染者やAIDS患者は危ないから避けるべき？

A クイズの答えは、全てX。

HIVは日常生活の中で感染することはなく、予防法や治療法も確立されているのです。しかし、時には感染そのものだけでなく、周囲の人に正しい知識がないことで生まれる偏見や差別が、感染者を苦しめることも。



たとえば
 社会では…

学校で噂を立てられたり、
 距離を置かれたりする。

「HIVに感染している」という理由で
 不採用になる。

子どもの
 幼稚園入園を
 拒否される。

パートナーの親から
 結婚を反対される。

これらはすべて周囲の誤った
 思い込みによる差別や偏見です。



想像してみてください

もし親友が
 「HIVに感染している」と
 打ち明けてきたら？

もし自分が
 HIVに感染して、
 周りから避けられたら？

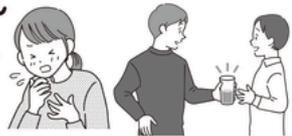


大切なのは、HIVやAIDSに対する先入観や間違った考えで差別や偏見を生まないこと。正しい知識を持つことは、予防だけでなく、人権を守ることにもつながるのです。

これだけは知っておいて AIDS・HIV のこと

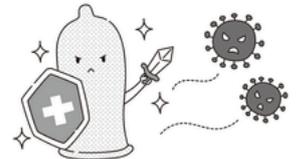
こんなことでは感染しません

HIVはせきやくしゃみ、コップの回し飲み、入浴やプールなど、日常生活では感染しません。



予防が可能な病気です

正しい知識と行動で予防できます。例えば、最も多い性的接触での感染予防には、コンドームの正しい使用が有効です。



早期発見で命を守れます

HIV感染を検査で早期発見できれば、薬でAIDS発症を防げます。その場合、平均余命は感染していない人とあまり変わりません。



必要以上に怖がらないで

日常生活では感染しません。これまでどく変わらず接することが、本人の安心や人権を守ることにつながります。



エイズについての授業を行いました！

12月1日は世界エイズデーでした。渡名喜小中学校では小学校、中学校とともにエイズに関する授業を行いました。授業後の感想には、「日常生活ではうつらないことが分かった」、「感染するのはこわいけど、偏見や差別をしないようにしたい」などが書かれていました。この学びをこれからは活かして行ってほしいと思います。

